

医療センターニュース

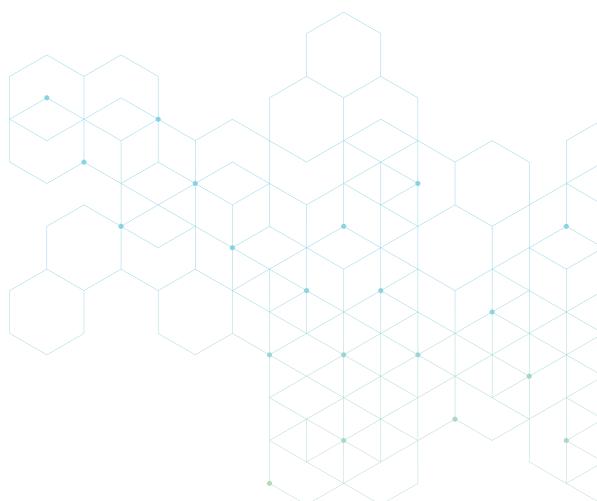


特集／インタビュー

地域と病院をつなぐ かけはしとなり、 病院のファンをつくる

news

放射線治療棟の完成披露式
下肢血流障害の診断機器の導入
頭皮冷却装置の導入・運用
令和6年能登半島地震 DMAT派遣



病院のファンをつくる

地域と病院をつなぐ
かけはしとなり、



病院と地域をつなぐ窓口の地域連携課。当院では親しみや役割を込めて「かけはし」と愛称をつけています。患者さんが安心して入院し、安心して家に帰れるように様々な調整役を担う地域連携課について紹介します。

地域連携課とは

「病診連携」「医療福祉相談」「入退院支援」の3つの業務を柱にして、入退院するための関係職種への調整や患者さんからの各種相談対応などを行なっています。当院の特徴としては連携部門に歴代看護師の管理者がいるため、看護の力が連携においても十分に発揮されています。

地域のニーズに応えるため、多職種との連携の調整役も地域連携課の仕事の一つです。例えば高齢化に伴い、褥瘡で困られている方が増えています。しかし寝たきりの方の場合、たくさんの患者さんが順番を待たれている皮膚科の通常外来を受診することは非常に困難です。そこで受診より先に患者さんの情報をを集め、皮膚科医や専門的な知識を持った看護師と調整を行い、負担が少なく受診できるようにしています。また褥瘡は受診をして薬を処方されるだけではなく、実際の生活状況の確認や普段から利用されている院外の訪問サービスとも連携して患者さんのサポートを行っています。一つ一つは地味ですが、チームで見ることで褥瘡の改善に繋がっていると感じています。



病診連携

より良い医療を提供するために、地域の診療所や病院と役割分担を行い、患者さんを紹介し合っています。当院で治療や検査を受けた患者さんにスムーズに地域に戻っていただくという地域医療支援病院としての役割を果たすために力を入れて取り組んでいます。

特に四日市は在宅医療の支援に注力されている医師の数も多く、関係職種との連携を行うことで、短い入院からも外来からも安心して帰ることのできる体制作りも進めてきました。

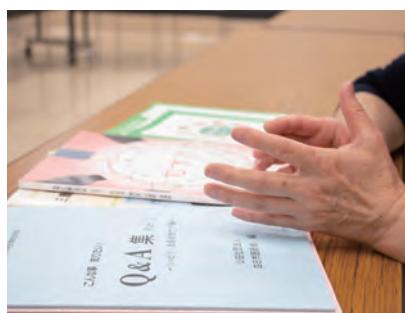
入退院支援

一部の診療科ではありますが、入院前から困りごと・問題・ニーズのヒアリングを行うことで患者さんに安心して入院していただく入院前支援に力を入れて取り組んでいます。また入院後は早期の段階から退院に向けた調整や支援を行うことで、生活の場に戻った時の課題解決などにもつながりスムーズにご自宅に戻っていただくことができます。患者さん一人一人がそれぞれの思いを持たれています。全てが思い通りにはならないかもしれません、患者さんの思いを入院目標として多職種が取り組むことで、患者さんの安心や満足度の向上になります。

また当院は三次救急指定病院でもあり、入院患者さんの約半数が救急搬送で運び込まれてきた方々です。残りの半分は予定入院の患者さんであり、入院前支援を通じて予定通りの退院ができることで、救急患者さんの対応・安心した医療の提供にもつながっています。

医療福祉相談

看護師、公認心理士、社会福祉士など様々な職種の職員が在籍して患者さんの相談に対応しています。脳卒中やがん、HIV、発達検査、医療ケア児、医療や介護に関連した相談や重症患者さんのメディエーターとしての役割も果たしています。中には、課内で解決しないことやどこにつなげればいいのかはっきりしない相談事もあります。そんな時は目の前の患者さんに対して最善のためにはどうすればいいのかを一番に考えて対応させていただいている。



病院のファンをつくる

当院を受診していただいた患者さんには満足して帰っていただきたいと常々考えています。それが病院のファンです。何か特別なことはしなくとも、目の前の業務や患者さんに対して真摯に対応するという当たり前のことを徹底しています。その他にも、講演会やイベントの開催も行なっています。病院を知ってもらい、「この病院で良かった」「また受診したい」「紹介したい」と一人でも多く思っていただけるように取り組んでいます。

学術講演会

年に10回ほど、地域の医療関係者向けの講演会を開催しています。日常診療に役立つ情報やリクエストされた内容を網羅できるように対応しています。



生活習慣病教室

生活習慣病教室

一般の方を対象に生活習慣病予防についての教室を開催しています。当院の医師、看護師、薬剤師などが医療や予防知識についてわかりやすく説明します。



出前教室

クリスマスコンサート

職員が飾り付けや演奏などを行ってコンサートを開催しています。入院患者さんや地域の方に癒しの時間を過ごしていただいています。



クリスマスコンサート

地域支援講習会

看護師、ホームヘルパー、ケアマネージャー、相談員など地域医療、介護に携わる職員さんを対象に出前教室とは別に、当院で講習会も開催しています。専門的技術や知識の習得できる講習会を行うことで、地域全体の支援につなげています。

かけはし通信

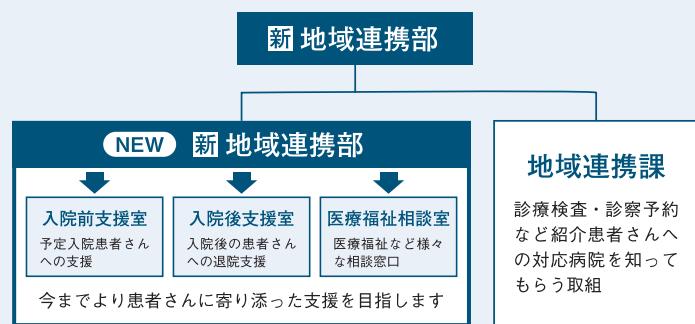
地域の医療機関へ月に1度、当院のニュースや情報を掲載したお便りを発行しています。

出前教室

病診連携訪問

今後の地域連携課の展望

地域連携課は病院の顔です。もし地域連携課の職員が「私は知らない」と対応を終えてしまうと病院の価値は一気に下がると考えています。各職員が良いおせっかいとなり、一つ一つの業務や患者さんに対して丁寧に対応していきたいと思います。



放射線治療棟の 完成披露式を開催しました



放射線治療機器の前で当院放射線治療科 南平医師から説明を受ける
一見知事



テープカット左側から 四日市医師会 山中賢治会長、
当院理事長兼院長 新保秀人、一見勝之三重県知事、
三重大学 佐久間肇教授、当院放射線治療科医師 南平結衣



当院では、がん放射線治療の質の向上や新興感染症にも対応可能な手術室を整備するため、新たに放射線治療棟を開設いたしました。

このことを地域の医療関係者等に広く知っていただくため、令和6年2月4日(日)に完成披露式を開催しました。

一見三重県知事から、「地域の方が、より質の高い医療で喜んでいただこうことを期待している。」等のお言葉をいただきました。

また、式典終了後、放射線治療機器や手術室(2室、うち1室は陰圧手術室)の内覧会を実施しました。

放射線治療棟での新たな取組等を通じ、地域の皆様からの期待に応えてまいりますので、よろしくお願いします。

News & Event

News

下肢血流障害の診断に役立つ新しい機器が導入されました!!

経皮酸素分圧(tcpO₂)測定装置が2024年3月に導入されました。

tcpO₂は皮膚の酸素分圧を測定する機械です。小さなセンサーを皮膚局部に張り、その貼付部位を43-44℃程度に加温しながら、皮膚局所を灌流する毛細血管の酸素分圧を測定する器械です。痛みや苦痛も全くなく、20分程度で簡便に測定でき、ABIでは判定できない下肢末梢の血流異常の有無を判別できます。

以下の様な下肢虚血の診断に非常に役立ちます。

- 難治性の皮膚潰瘍や皮膚の色調不良など 下肢虚血を疑う症例の診断確定
- 閉塞性動脈硬化症やバージャー病などの診断・治療効果判定
- センサーを装着した図下肢血行再建(EVT)の適応や治療効果判定
- 下肢切断が必要な重症下肢虚血症例の切断範囲の決定

上記のような下肢虚血疑いの患者様がいましたら、是非、当院循環器内科までご紹介ください。



センサーを装着した図

News

頭皮冷却装置の導入・運用のおしらせ



当院では、3月1日(金)より、抗がん剤治療による脱毛抑制を目的とした、医療機器頭皮冷却システム(Paxman Scalp Coolingシステム Orbis)の運用を、乳腺外科で開始いたしました。

化学療法の各クールにおいて抗悪性腫瘍薬の投与開始30分前から、投与終了後90分、頭皮冷却を行います。製品本体内部で約-4℃に冷却したクーラントを、専用のキャップに循環させ、継続的に頭皮を冷却させるシステムです。抗がん剤治療中に頭皮を冷却することにより血流が遅くなり、毛母細胞への薬剤のダメージを軽減させることにより脱毛が抑制されます。

装置を使用しても、脱毛をおこす可能性はありますが、装置を使用することで、脱毛後の早期の毛髪再生が期待できます。

乳がん患者様で、周術期(術前・術後)化学療法にご利用ご希望の方は、乳腺外科にご相談ください。

News

令和6年能登半島地震 DMAT派遣について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当院からは計5隊のDMATを派遣し、被災地の支援活動を行いました。



休診のお知らせ

令和6年6月1日現在

皮膚科

- 4月 2日(火)
- 4月 3日(水)

耳鼻いんこう科

- 4月 8日(月)
- 5月 16日(木)
- 5月 31日(金)

眼科

- 5月 31日(金)
- 6月 28日(金)

三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更する場合があります
ので、最新の情報をホームページ・
お電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和6年6月1日(土)現在

診療科		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診 初診・再診	大須賀 感染症内科 白木	岡本 血液内科 和田	西田 白木	小林 / 上杉 消化器内科(再診) 白木	大泉 循環器内科(再診) 山田
	初診 再診 再診	森谷 井上	井上 森谷	山中 / 水谷 (午前) 小林	西浦 / 小林 山中 / 菅	中澤 / 上杉 西浦
循環器内科	初診 再診	増田 加藤	加藤 中澤	腎臓内科 村田 谷垣内	中嶋 牧野	腫瘍内科 斎藤 増田 (2・4週) 担当医
	ベースメーカー休診					
※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※総合内科木曜日の1診は、小林が第1週・第3週・第5週を担当し、上杉が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、小林が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の4診は、菅が泌尿器科2診での診察となります。 ※消化器内科金曜日の3診は、中澤が第1週・第3週・第5週を担当し、上杉が第2週・第4週を担当します。						
呼吸器センター	初診 再診 再診	吉田 (紹介診) 後藤 (初診) 藤原	吉田 (紹介診) 三木 (初診)	増田 児玉 後藤	三木 吉田	児玉* 藤原
	※緩和ケア外来希望の方は金曜日 9時~11時 (完全予約制)					
消化器・一般外科	1診 / 横江 2診 / 尾嶋 3診(午前) / 毛利	1診(午前) / 担当医	1診 / 尾嶋 2診 / 山本 3診(午前) / 横江	1診 / 毛利 2診(午前) / 橋本	1診(午前) / 担当医	
小児外科		2診 / 内田		2診 / 内田(14:00~)		
乳腺外科		3診 / 山下		3診(午前) / 山下	2診 / 野呂	
形成外科		3診(午後) / 乳腺外来(大西)	1診(午後) / 小島	3診(15:00~) / 乳腺外来	3診(午後) / 乳腺外来(東)	3診(午前) / 乳腺外来、4診(午後) / 小島
心臓血管外科 / 呼吸器外科	1診 / 近藤 2診 / 庄村	1診 / 新保 2診 / 鈴木	1診 / 井上 2診 / 田邊(第2~5週)			1診 / 澤田
脳神経外科	1診 / 和田 2診 / 亀井	1診 / 黒田 脳血管外来*(佐野)	1診 / 寺島	予約診 / 担当医		1診 / 佐野 2診 / 亀井 午後 予約制 / 脊椎脊髄外来
※第2週・第4週 火曜日 9時~11時 (完全予約制)						
脳神経内科	1診 / 伊藤	1診 / 伊藤 2診 / 掃部	1診 / 掃部 / 伊藤 2診 / 西垣	1診 / 大久保 / 岡本 2診 / 岡本 / 大久保	1診 / 掃部 2診 / 伊藤	
※水曜日の1診は、掃部が第1週・3週・5週を担当し、伊藤が第2・第4週を担当します。 ※木曜日の1診は、大久保が第1週・3週・5週を担当し、岡本が第2・第4週を担当します。 ※木曜日の2診は、岡本が第1週・3週・5週を担当し、大久保が第2・第4週を担当します。						
小児科	1診 / 杉山 2診 / 西森 3診 / 太田 予約診 / 山口	1診 / 西森 2診 / 太田 3診 / 中里 4診 / 荻野	予約 / 太田 予約 / 杉山 予約 / 大森 / 山口 時間外・紹介 / 西森	1診 / 太田 2診 / 西森 3診 / 中村 3診 / 林	1診 / 杉山 2診 / 鈴木 3診 / 林 予約診 / 山口	
産婦人科	平野(1・3・5週)/ 大里(2・4週)(初診) 2診 / 古橋	1診 / 手嶋(初診) 2診 / 朝倉	1診 / 古橋(初診) 2診 / 河村	1診 / 竹内(初診) 2診(午前) / 朝倉 2診(午後) / 1ヶ月検診	1診 / 河村(初診) 2診 / 平野(1・3・5週) 2診 / 杉本(2・4週)	
	3診(午前) / 南(1・3・5週) 平野(2・4週) 母体胎兒診断(1・3・5週) 3診(午後) / 平野(2・4週)	3診 / 杉本(1・3・5週) 小村(2・4・5週)	3診 / 竹内	3診 / たんぽぽ(助産師) 外来	3診 / 朝倉	
	4診 / たんぽぽ(助産師) 外来			4診 / 完全予約制(1・2・4週) リンパ浮腫ケア外来		
整形外科	1診(午前) / 北尾(紹介・膝・肩) 2診(午前) / 柿本(紹介・初診・膝) 3診(午前) / 服部佳生(リハ・再診)	1診(午前) / 北尾(膝関節外来(再診)) 1診(午後) / 北尾(再診) 2診(午前) / 服部佳生(紹介・初診) 2診(午後) / 柿本(再診)		1診 / 奥山(再診) 2診(午前) / 服部徹也(紹介・初診・股) 2診(午後) / 服部徹也(再診)	1診(午前) / 奥山(紹介・初診) 2診(午前) / 岡本(紹介・初診) 2診(午後) / 岡本(再診) 第2・4週	
	4診(午後) / 岡本(再診)			3診(午前) / 服部佳生(リハ・再診) 3診(午後) / 服部佳生(再診)	3診(午後) / 服部佳生(再診)	
※金曜日の紹介予約は奥山が毎週担当します。 ※第1・第3・第5金曜日は奥山が担当し、第2・第4金曜日は寺田が担当します。						
皮膚科	1診 / 渡邊	1診 / 加古	1診 / 加古	1診 / 中西	1診 / 加古	
		午後 / 褥瘡回診	午後 / 手術			
泌尿器科	1診 / 神田		1診 / 辻	1診 / 松浦	1診 / 伊藤	
	予約診 / 松浦		予約診 / 神田		予約診 / 辻	
	予約診 / 辻		予約診 / 伊藤		予約診 / 松浦	
眼科	1診 / 佐宗	1診 / 佐宗(午後休診)	1診 / 佐宗	1診 / 佐宗	1診 / 佐宗	
耳鼻いんこう科	1診 / 鈴村	1診 / 鈴村	1診 / 鈴村	1診 / 鈴村	1診 / 鈴村	
精神科	1診 / 山下	1診 / 山下	1診 / 山下	1診 / 山下	1診 / 山下	
放射線科	1診 / 南平	1診 / 南平/野本	1診 / 南平 / 高田	1診 / 南平 / 佐貫	1診 / 南平	

*都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認下さい。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321(代表)

— 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

- 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

— 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和6年3月／発行号

〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132

TEL. (059)345-2321(代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>

表紙：地域連携課 [令和6年3月12日(火)撮影]

ホームページ



交通の
案内

